

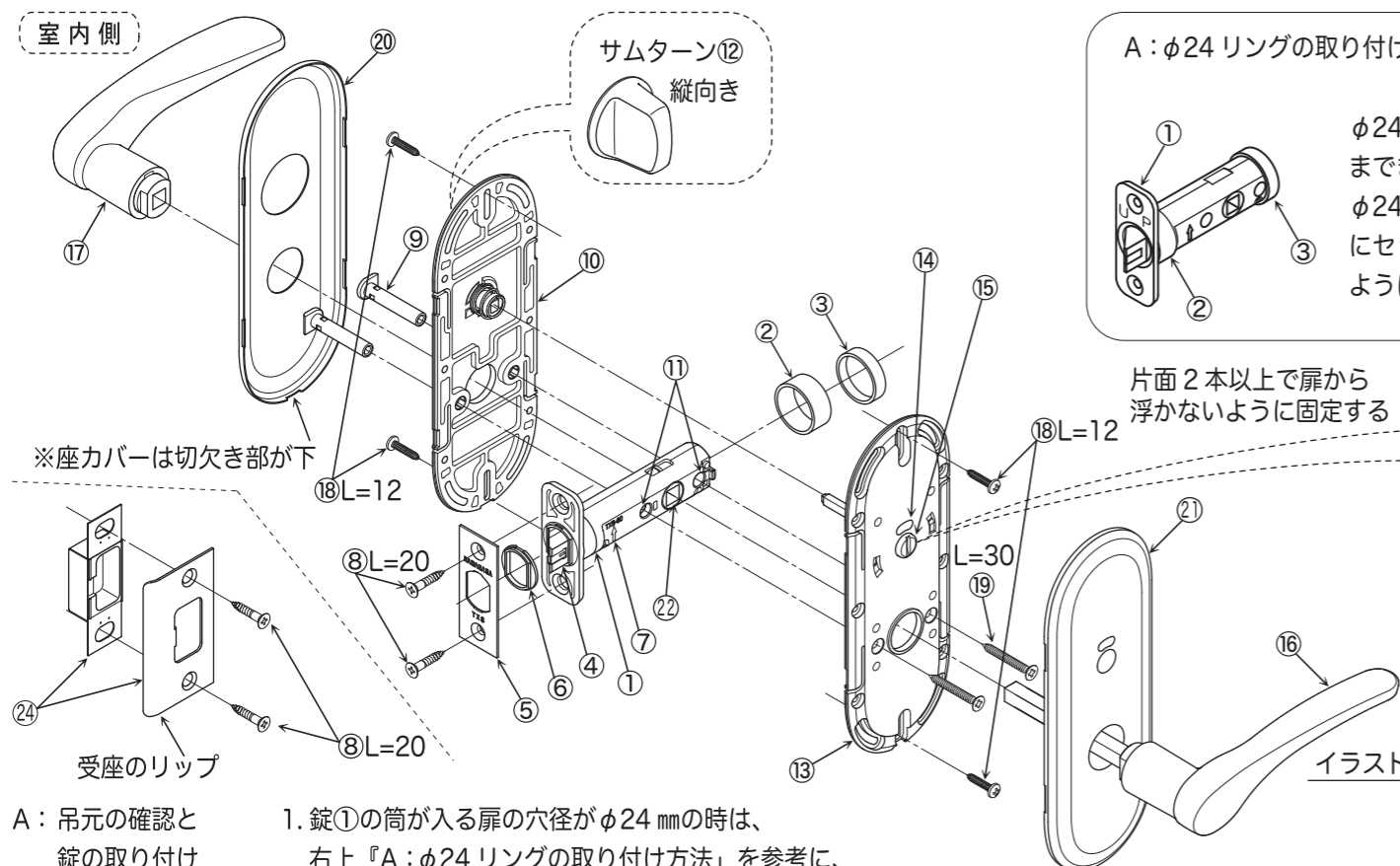
ヴィークリアシリーズ R 座【TXS 錠対応】室内レバー set 取付説明書

取付上の注意

※ 締め付けの際は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。 7272002

ねじ穴の破損および錠・座本体などを傷めるおそれがあります。

※ 取付ねじ等は、しっかりと固定し飛び出しのないように取り付けてください。



A：φ24 リングの取り付け方法

φ24 リング②は錠①の先端までしっかりセットし、φ24 リング③は錠①の後部にセットします。隙間がないように、はめ込みます。

片面 2 本以上で扉から浮かないように固定する

キープラグの溝⑮
縦向き

室外側

B：パイプ脚⑨の外し方

パイプ脚⑨の先を平らな面に置き、ゴムハンマー等で脚 2 本の間を叩きます。

ケガと破損に注意してください。

C：シリンダー付間仕切錠の取り付け時

鍵を抜き取り
キープラグの向きが縦長になっているのを確認し室内側補強座⑩のサムターン⑫角穴にセットします。

D：ワンタッチレバーの取り外し方

解除ブッシュ⑮を図のようにレバーハンドル⑮裏面の穴に差し込んだ状態で角芯棒付レバーハンドル⑯を抜き取ります。

イラストは【TXS 錠 R 座 表示錠】右吊元仕様

A：吊元の確認と錠の取り付け

- 錠①の筒が入る扉の穴径がφ24 mmの時は、右上『A：φ24 リングの取り付け方法』を参考に、φ24 リング②③を錠に取り付けます。φ24 リングを取り付けた場合は、25 mm幅フロント板を使います。
- 「左吊元」の場合は、錠①のラッチボルト④を廻してあわせてください。
- フロント板⑤にラッチブッシュ⑥をセットします。フロント板は幅違いで2枚同梱しています。
※ 25 mm幅フロント板を使用する時は、22.5 mm幅フロント板からラッチブッシュ⑥を外して取り付けます。
- 錠①を矢印⑦を上向きにして、扉加工部に差し込みます。
- 錠①とフロント板⑤をあわせて、固定ねじ (L=20)⑧2 本で取り付けます。

【パイプ脚⑨の使い分け方】

B：座の取り付け

本製品は、室内側補強座⑩にパイプ脚⑨なしでも取り付けられます。既存金物からのお取り替え等で、既に切欠穴が開いており、切欠穴の幅が40 mm以下の場合ではパイプ脚⑨は不要です。パイプ脚⑨を誤って取り付けしてしまった場合は、右上『B：パイプ脚⑨の外し方』を参考に、脚の先を机などの平らな面に置き、ゴムハンマー等でパイプ脚 2 本の間を叩くと外せます（ケガと破損に注意してください）。新規取付で本図通りの切欠穴を開ける場合は、パイプ脚⑨を取り付けます。部材の芯出しが容易になります。

- 【パイプ脚⑨なし】 1. 室内側補強座⑩を室内側にセットします（セット時、サムターンツマミ⑫は縦向き）。
【パイプ脚⑨あり】 1. パイプ脚⑨を室内側補強座⑩の脚部にセットし、錠ガイド穴⑪に差し込みます（差し込み時、サムターンツマミ⑫は縦向き）。

- 室外側補強座⑬をセットします（表示錠の時、表示⑭は青、キープラグ溝⑮は縦向き。シリンダー付間仕切錠の時は右上『C：シリンダー付間仕切錠の取り付け時』を参考にセットしてください）。

⚠ 角芯棒付レバーハンドル⑯と反対側レバーハンドル⑰を仮セットし、錠が正常に作動することを確認してください。補強座の固定位置が確認できます。固定位置がずれると、レバーハンドルの動きに支障がでることがあります。

- 補強座の固定位置を確認し、補強座を、固定ねじ (L=12)⑮4～8 本と、引張ねじ (L=30)⑮2 本（パイプ脚⑨を使用しない場合は不要）で取り付けます。

※ 補強座固定ねじ (L=12)⑮の取り付け位置は、扉の切欠穴に合わせて選べます。扉から浮かないように取り付けてください。

- 仮固定のレバーを外し、座カバー⑳㉑を嵌め込みます。『切欠き部が下』に注意してください。

1. 角芯棒付レバーハンドル⑯を錠角穴㉒に差し込みます。反対側レバーハンドル⑰をセットしてください。
※ ハンドルセットは、軽く差し込むだけで固定されます。強く押さえ過ぎると動きに支障がでることがあります。その時は右上『D：ワンタッチレバーの取り外し方』を参考にゆるめ、適正な位置にあわせてご使用ください。

C：ワンタッチレバーハンドルの取り付け

D：受座の取り付け

- 受座㉔は固定ねじ (L=20)⑧2 本で取り付けます。受座のリップの飛び出しに注意しながら取り付けます。

